

田尻町外部公益通報に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、公益通報者保護法（平成16年法律第122号。以下「法」という。）に基づき外部の労働者等からの田尻町（以下「町」という。）に処分又は勧告等をする権限を有する通報事実に係る法第3条第2号に規定する公益通報（以下「外部公益通報」という。）について、適切に処理するために必要な事項を定めることにより、外部公益通報者の保護を図るとともに、町の法令遵守を推進することを目的とする。

(用語の意義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号の定めるところによる。

- (1) 外部の労働者等 通報対象事実又はその他法令違反等の事実に関係する事業者には雇用されている労働者又は通報の日前1年以内に当該労働者であった者、当該事業者が派遣先とする派遣労働者及び又は通報の日前1年以内に派遣労働者であった者、当該事業者の役員その他当該事業者の法令遵守を確保する上で必要と認められる者をいう。
- (2) 外部公益通報 外部の労働者等が通報対象事実（法第2条第3項に規定する通報対象事実をいう。以下同じ。）に関し、当該通報事象事実について処分又は勧告等の権限を行う町の機関に行う通報をいう。ただし、不正の利益を得る目的、他人に損害を加える目的その他不正の目的で行う通報を除く。
- (3) 相談 外部の労働者等が通報に先立ち町から必要な助言を受けるためにする相談をいう。
- (4) 受理 外部の労働者等からの通報を町の機関に対する公益通報として受け付けることをいう。
- (5) 主管課等 通報又は相談に係る法令等を所管する課等をいう。

(公益通報相談窓口)

第3条 外部の労働者等からの公益通報又は相談を受け付ける窓口（以下「通報相談窓口」という。）は、産業振興課に置く。

- 2 前項の規定に関わらず通報相談窓口を経由しないでなされた外部の労働者等からの相談又は通報は、主管課等において受け付けることができるものとする。

(通報相談窓口の事務)

第4条 通報相談窓口は、受け付けた相談又は通報の内容により次の各号のいずれかの措置を講ずるものとする。

- (1) 適切な主管課等に相談又は通報を取り次ぐこと。
- (2) 他の行政機関の所管する法令等に係る相談又は通報である場合に、当該権限を有する他の行政機関を教示すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、相談又は通報の内容に応じて適当と認められる措置を講ずること。

(主管課等の事務)

第5条 主管課等は、外部の労働者等から相談又は通報に係る事実の詳細その他必要な情報を聴取するものとする。

- 2 主管課等は、前項の聴取に際し、外部の労働者等に対し、当該外部の労働者等の秘密及び個人情報保持されることを説明するものとする。
- 3 主管課等は、相談又は通報に係る事実が通報対象事実該当する場合において、当該通報対象事実について町の機関が処分又は勧告等をする権限を有しないときは、当該権限を有する他の行政機関を教示するものとする。

(受理)

第6条 主管課等は、外部の労働者等からの通報が町の機関に対する公益通報と認められる場合は、当該通報を公益通報として受理するものとする。

- 2 主管課等は、前項の規定により受理したときはその旨を、受理しないときは受理せず情報提供として受け付ける旨を、当該外部の労働者等（以下「通報労働者等」という。）に対し、外部公益通報受理・不受理

理通知書（様式第1号）により通知するものとする。

3 主管課等は、次の各号いずれかに該当する通報は、公益通報として受理せず情報提供として受け付けるものとする。

- (1) 法に定められた要件を満たさない通報
- (2) 匿名の通報その他通報労働者等が特定することができない通報
- (3) 内容が著しく不分明な通報
- (4) 内容が虚偽であることが明らかな通報
- (5) 前各号に規定するもののほか、公益通報として受理することが不適当と認められる通報

4 主管課等は、公益通報を受理した後において、町の機関ではなく他の行政機関が処分又は勧告等をする権限を有することが明らかになったときは、遅滞なく当該権限を有する当該他の行政機関を通報労働者等に教示しなければならない。この場合において、当該教示を行う主管課等は、適当と認める範囲において、自ら作成した当該通報に係る資料を通報労働者等に提供するものとする。

（調査の実施）

第7条 公益通報を受理した主管課等は、通報労働者等が被通報者又はその関係者に特定されないよう十分配慮しつつ、速やかに必要かつ相当と認められる方法で調査を行うものとする。

2 主管課等は、適切な法執行の確保、利害関係人の営業秘密、信用、名誉、個人情報等に配慮しつつ、調査中において必要と認めた場合は調査の進捗状況を、調査終了後には速やかに調査結果を取りまとめてその結果を、適当と認める範囲内で通報労働者等に対し、外部公益通報調査結果報告書（様式第2号）により通知するものとする。ただし、通報労働者等が通知を希望しない場合は、この限りでない。

3 町長は、特別の事情があると認めるときは、弁護士等第三者に調査を依頼することができる。

（調査結果に基づく措置）

第8条 主管課等は、法第13条第1項の規定により、法令に基づく措置その他適当な措置をとった場合は、適切な法執行の確保、利害関係者の営業秘密、信用、名誉、個人情報等に配慮しつつ、当該措置の内容を適当と認める範囲内で通報労働者等に対し、外部公益通報措置結果報告書（様式第3号）により通知するものとする。ただし、通報労働者等が通知を希望しない場合は、この限りでない。

（協力義務等）

第9条 主管課等は、通報対象事実に関し、処分又は勧告等をする権限を有する行政機関が町の機関の他に
ある場合においては、当該行政機関と連携して調査を行い、又は措置をとる等相互に緊密に連絡し協力するものとする。

2 主管課等は、他の行政機関その他の機関から公益通報に関する調査等の協力を求められたときは、できる限り必要な協力を行うものとする。

（記録票及び台帳の作成）

第10条 通報相談窓口又は主管課等は、外部の労働者等からの相談又は通報を受け付けたときは、通報相談内容記録票（様式第4号）を作成するものとする。

2 主管課等は、公益通報を受理したときは、通報内容記録票（様式第5号）を作成するものとする。

3 主管課等は、受理した公益通報ごとに処理の内容及び主要な進捗状況を公益通報管理台帳（様式第6号）に記録し、処理終了後、産業振興課に連絡するものとする。

（秘密の保持等）

第11条 公益通報の処理に従事する職員は、公益通報に関する秘密を漏らし、又は自ら関係する公益通報の処理に関与してはならない。

（委任）

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和8年4月1日から施行する。